

看護ブレストケアチーム



【ピンクリボン運動】

乳がんは女性が罹るがんの中で最も多く、罹患率は年々増加傾向にあります。しかし、乳がんは早期に発見できれば、90%以上は治る病気です。そのため、乳がんの早期発見・早期治療が大切です。そこで、ブレストケアチームは毎年10月にピンクリボン運動(乳がんの正しい知識と早期発見、早期治療のための啓発活動)を実施しています。乳がんの好発年齢は、40歳代後半～50歳代ですが、30歳代も増加傾向にあります。対象年齢に応じた検診の受診と月1回の自己検診をおこなってください。



当院は、大阪市乳がん検診(40歳以上)の指定病院にもなっています。
40歳以上の方は、
2年に1回
マンモグラフィー検診を受けましょう

しこりなど気になる症状のある方は、
「乳腺内分泌外科」を受診してください。

【乳がんの治療を受ける患者さんに対して】

乳がんの治療は、手術療法、化学療法、放射線療法、内分泌療法など多岐に渡り、乳がんの進行の度合い、乳がんの性質、患者さんの状態などによって異なります。患者さんのご希望を伺いながら医療スタッフと話し合い、納得された上で治療方針は決定されますが、最善の治療を受けるためには、患者さんご自身も病気について正しく理解いただくことが大切です。また、乳がんと診断された患者さんは、身体的な問題だけでなく、戸惑いや不安などの心の苦痛、子育てや働き盛りの方も多いためなどから社会的問題などご家族を含めさまざまな問題を抱えていらっしゃるかもしれません。そのため、私たち看護ブレストケアチームは患者さんの不安や苦痛を少しでも軽減し、安心して治療を受けていただけるようサポートしてきます。治療や副作用症状のこと、治療中の気がかりなどお困りのことがございましたら、遠慮なくお声をかけてください。

